

# Cisco HX Data Platform リリース 5.5 のリリースノート

---

初版：2023 年 8 月 22 日

最終更新：2023 年 8 月 22 日

## はじめに

Cisco HyperFlex™ システムは、ハイパーコンバージドシステムのデザインが持つ力を最大限に活用できます。ソフトウェア デファインド インフラをベースとするこのシステムでは、Cisco Unified Computing System (Cisco UCS) サーバによるソフトウェア デファインドのコンピューティング、強力な Cisco HX Data Platform を利用したソフトウェア デファインド ストレージ、そして Cisco Application Centric Infrastructure (Cisco ACI) とも連携・統合可能な Cisco UCS ファブリックによるソフトウェア デファインド ネットワーキングが一元化されています。こうしたテクノロジーにより接続とハードウェア管理を一元化することで、統合されたリソースプールをビジネス ニーズに合わせて提供できる、適応性の高い統合 クラスタが実現します。

これらのリリース ノートは、Cisco HX Data Platform リリース 5.5 に関連しており、Cisco HX Data Platform の機能、制限事項、および問題について説明しています。

## 変更点

次の表に、各リリースで導入または更新された HyperFlex リリース ノートのセクションへのリンクを示します。詳細を表示するために、リンクをクリックします。

リリース	日付	説明
5.5(1a)	2023 年 8 月 22 日	<p>Cisco HyperFlex リリース 5.5(x) の最初のリリース。次のセクションが導入されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <a href="#">新しい HyperFlex 機能 (2 ページ)</a></li> <li>• <a href="#">Cisco HXDP リリース 5.5(x) のサポートされているバージョンとシステム要件 (3 ページ)</a></li> <li>• <a href="#">混合クラスタ展開のガイドライン - Cisco HX リリース 5.5(x) (6 ページ)</a></li> <li>• <a href="#">解決済みのセキュリティ修正 (7 ページ)</a></li> <li>• <a href="#">リリース 5.5(x) の問題 : Cisco バグ検索ツール (7 ページ)</a></li> <li>• <a href="#">関連資料 (8 ページ)</a></li> </ul>

## 新しい HyperFlex 機能

### Cisco HyperFlex リリース 5.5(1a) : HyperFlex の新機能

次の機能が Cisco HyperFlex リリース 5.5(1a) で導入または更新されました。

- **vSphere 8.0 U1 をサポート**
- **追加の UCS ファブリック インターコネクト サポート** : UCS-FI-6536 のサポート。
- **ストレッチ クラスタの機能拡張** : HXDP リリース 5.5(1a) で次の機能が導入されました。
  - **Invisible Cloud Witness: HXDP 5.5(1a) を使用してインストールされた新しいストレッチ クラスター** HXDP 5.5(1a) を使用してインストールされたストレッチ クラスタは、サードサイトで外部監視サービスを必要とせずに、サイトアービトレーション用に非表示のクラウドウィットネスを自動構成します。Invisible Cloud Witness は、最新の Invisible Cloud Witness バージョンを自動的に実行します。このコンポーネントのユーザー メンテナンスは必要ありません。(Intersight からのクラスタ展開のストレッチはサポートされていません)。
  - **ストレッチ クラスタの優先サイトのサポート**



(注) 以前の Zookeeper Witness を使用して確立されたクラスタは、クラスタのアップグレード後も引き続き機能します。

- **ESXi ハイパーバイザ** : リブート時間の短縮



(注) 次の変更がサポートされます。

- Sentinel スナップショット作成ワークフローはサポートされていません。
- 5.5(1a)以降、6.5、6.7、および7.0.U1以降のESXiバージョンはサポートされていません。
- Microsoft Hyper-V、HXCSI、およびHyperFlex M4 サーバーは、HXDP リリース 5.5(x) ではサポートされていません。設定および管理情報については、Cisco HyperFlex リリース 5.0(x) のドキュメントを参照してください。
- VMware ローカルプラグインアーキテクチャのサポートは、vSphereバージョン6.5、6.7、および7.0に制限されています。詳細については、VMware サイトの「*vSphere Client Local plugins are deprecated (87880)*」の記事を参照してください。

## 新しくサポートされているドライブ

既存のクラスタの拡張、または異なるドライブの相互運用性に関する一般情報については、『[HX Drive Compatibility Guide](#)』を参照してください。

表 1: サポートされているドライブ

ドライブ名	ドライブ機能	ドライブ PID	該当するプラットフォーム	バージョン
1.6TB ADP-RR 5620	キャッシュドライブ	HX-NVME4-1600	M5 C220 すべて NVMe M5 C220/C240 All Flash M6 C220/C240 All NVMe M6 C220/C240 All Flash	5.5(1a)

## Cisco HXDP リリース 5.5(x) のサポートされているバージョンとシステム要件

Cisco HX Data Platform を正常にインストールするには、特定のソフトウェアおよびハードウェアのバージョン、ネットワーク設定が必要です。

要件の完全なリストについては、『[VMware ESXi 用 Cisco HyperFlex システム リリース 5.5 インストールガイド](#)』を参照してください。

要件	詳細へのリンク
ハードウェアとソフトウェアの相互依存関係の完全なリストについては、	<a href="#">Cisco HyperFlex HX-Series のハードウェアとソフトウェアの相互依存関係</a>
クラスタ制限および Cisco HX Data Platform の互換性とスケーラビリティの詳細	<a href="#">Cisco HX データ プラットフォームの互換性と拡張性の詳細 - 5.5(x) リリース</a>

要件	詳細へのリンク
HXストレージクラスタ内で使用される各サーバの各コンポーネントに互換性があることを確認します。	<a href="#">FI/サーバファームウェア - 5.5(x) リリース</a>
サーバのコンポーネント ファームウェアが、次の表に示されている最小バージョン以上であることを確認します。	<a href="#">5.5(x) 展開向け HyperFlex Edge およびファームウェア互換性マトリックス</a>
ストレッチ クラスタ用 HyperFlex 補助ノードの HX データ プラットフォーム ソフトウェア バージョン	<a href="#">ストレッチ クラスタ用 HyperFlex 補助ノードの HX データ プラットフォーム ソフトウェア バージョン - 5.5(x) リリース</a>
互換性のある Cisco HyperFlex システム (HX) コンポーネントおよび VMware vSphere コンポーネントのバージョンを使用していることを確認してください。	<a href="#">VMware ESXi のソフトウェア要件 - 5.5(x) リリース</a>
推奨ブラウザのリスト。	<a href="#">ブラウザの推奨事項 - 5.5(x) リリース</a>

## 注意事項と制約事項

- HyperFlex vCenter Local プラグインは、ESXi 8.0 U1 へのアップグレード後はサポートされません。

### HyperFlex ソフトウェアのアップグレードの前提条件

アップグレードプロセスを開始する前に、次のタスクを実行する必要があります。



**重要** VMware アップデート マネージャ (VUM) または、VMware ライフサイクル マネージャ (vLCM) を使用して HyperFlex ノード上で ESXi をアップグレードすることはサポートされていません。これらのアップグレードメソッドを使用することは、Cisco カスタムドライバの削除とクラスタ停止を引き起こす場合があります。VMware のセキュリティ パッチまたは、ESXCLI コマンドと一緒にオフライン zip バンドルの手動のインストールを含む ESXi アップグレードは、Cisco Intersight または、HyperFlex 接続 の使用を推奨します。

- 各 HyperFlex データストアおよび HyperFlex クラスタ内の各 ESXi ホストのローカル データストアで Storage I/O Control (SIOC) が完全に無効になっていることを確認します。これは、vCenter Web Client で確認できます。

**Datastores -> <datastore name> -> Configure -> General -> Datastore Capabilities -> Storage I/O Control -> Verify > Status** と **Statistics Collection** 両方は、**Disabled** に設定されています。



(注) 詳細およびSIOCを無効にする手順については、VMwareのドキュメントサイトを参照してください。

- HXDP リリース 4.0(2x) 以降を実行しているクラスタは、5.5(1a) に直接アップグレードできます。
- HXDP リリース 5.5 (x) は、ESXi バージョン 7.0 U2、7.0 U3、および 8.0 U1 以降のみをサポートします。現在の ESXi バージョンが 7.0 U2 より前の場合は、HXDP と ESXi をターゲット レベル 7.0 U2 以降に組み合わせてアップグレードする必要があります。
- HXDP がすでに 5.5 (x) にアップグレードされており、ESXi を 7.0 から 8.0 にアップグレードしようとする場合、ユーザーは HXDP バンドルをアップロードし、ターゲット ESXi 8.0 バンドルとともに HXDP を選択する必要があります。
- HXDP リリース 5.5 (x) にアップグレードする前に、すべての M4 ノードを HyperFlex M5 以降に移行します。クラスタ内の HyperFlex M4 ノードを使用して HXDP リリース 5.5 (x) にアップグレードしようすると失敗します。
- [HX データ プラットフォーム \(HXDP\) ソフトウェア推奨リリース バージョン : Cisco HyperFlex HX シリーズ システムの Cisco HyperFlex アップグレードガイドライン](#)を見直します。
- Cisco HXDP リリース 5.0(2a) 以降、すべての機能と構成の変更には、有効な Cisco HyperFlex ソフトウェアライセンスが必要です。評価の終了時またはライセンス準拠日の後の猶予期間に期限切れ、または不十分なライセンスを持つ HX Connect ユーザーには、ライセンス準拠の必要性を警告する目立つカウントダウンバナーが表示され、ライセンスの期限切れが解消されるまでライセンス更新ページへのリンクが提供されます。  
ライセンスがその有効期限日と猶予期間のカウントダウンの両方の期限日を過ぎた場合、現在の構成は限られた情報で動作します。ライセンスを更新すると、ユーザーはすべての機能を再開し、構成を変更できます。バナーの詳細と例については、『Cisco HyperFlex Systems Ordering and Licensing Guide』の「[License Compliance and Feature Functionality](#)」セクションを参照してください。
- vCenter のバージョンチェック : vCenter がアップグレードされる ESXi バージョンの最小要件を満たしていることを確認します。vCenter と ESXi の間の互換性を確保するには、[VMware 製品の相互運用性マトリックス](#)を参照してください。
- vMotion 互換性のために、すべての VM ネットワーク ポート グループがクラスタ内のすべてのノードに存在することを確認します。
- 計画されたファブリックフェールオーバー中の中断のない接続を確保するために、管理およびストレージデータの VLAN がトップオブブラック ネットワーク スイッチで設定されていることを確認します。
- 環境内でジャンボフレームを使用している場合は、ジャンボフレームが、トップオブブラック スイッチ上の vMotion およびデータ ネットワークで有効になっていることを確認します。

- アップグレード中に ESXi ホストがロックダウンモードになっていないことと SSH サービスが有効になっており、ホストで開始され停止するように設定されていることを確認します。アップグレードの完了後にロックダウンモードが再度有効化され、同時に SSH サービスが無効化ができます。
- ブレードパッケージとラックパッケージのバージョンは、ホストファームウェアパッケージ：M6 ノードの **HyperFlex-m5-con** および **HyperFlex-m6-con** に表示されません。
- ストレージコントローラ仮想マシン (SCVM) の VM 互換性バージョンまたはハードウェアバージョンのアップグレードはサポートされていないため、実行しないでください。このアクションは SCVM に悪影響を及ぼすため、実行する場合は SCVM の再構築が必要になります。

## 混合クラスタ展開のガイドライン - Cisco HX リリース 5.5(x)

### 一般的なガイドライン

- HX240c M6 は、M5 ノードを持つクラスタで組み合わせた場合、追加のスロットを使用できません。
- すべてのサーバは、クラスタのフォームファクタ (220/240)、タイプ (Hybrid/AF/NVME)、セキュリティ機能 (非 SED のみ) およびディスク設定 (数量、容量、非 SED) と一致する必要があります。

### 混合クラスタ拡張オプション：サポート

- M6 コンバージド ノードを使用して既存の M5 クラスタを拡張する操作はサポートされません。
- M5 または M6 コンバージド ノードを持つ既存の混合 M5/M6 クラスタの展開がサポートされています。
- 混合クラスタの作成では、拡張ワークフローのみがサポートされています (混合 M5/M6 サーバでの最初のクラスタ作成はサポートされていません)。
- サポートされているコンピューティング専用ノードを追加することは、HX Data Platform 5.0 またはそれ以降のインストーラを使用した M5、混合 M5/M6 クラスタすべてで許可されています。組み合わせの例を以下に示しますが、他にもさまざまな組み合わせが可能です。

### 混合クラスタ拡張オプション：サポートされていません

- M5 コンバージド ノードを使用して既存の M6 クラスタを拡張する操作はサポートされません。
- Intel と AMD M6 の混在はサポートされていません。
- HX Edge は、混在 M5、M6 クラスタをサポートしません。

- 混在 M5/M6 サーバを使用した初期クラスタの作成はサポートされません。

## 解決済みのセキュリティ修正

HXDP リリース 5.5(x) では、次のセキュリティの問題が解決されています。

影響を受けるリリース：影響を受けるリリースのリストは、最初の既知のリリースおよびHXDP 5.5(x) 解決済みリリースまでのすべてのリリースと同じです。

不具合 ID	Common Vulnerability and Exposures (CVE) ID :	説明	最初の既知のリリース <sup>1</sup>
CSCvp64519	なし	Adobe Flash permissive crossdomain.xml ポリシー	3.5(1a)

<sup>1</sup> 最初の既知のリリースから解決済みのリリースまでのすべてのリリースが影響を受けると仮定します。

## リリース 5.5(x) の問題：Cisco バグ検索ツール

バグ検索ツール (BST) は、ネットワークリスク管理およびデバイスのトラブルシューティングにおいて効率性を向上させるように設計されています。BSTを使用すると、パートナーとお客様は製品、リリース、キーワードに基づいてソフトウェアのバグを検索し、バグ詳細、製品、バージョンなどの主要データを集約することができます。このツールでは、クレデンシャルに基づいてバグをフィルタし、検索入力に関する外部および内部のバグビューを提供することもできます。<https://tools.cisco.com/bugsearch> で BST にアクセスします (Cisco のユーザー ID とパスワードを使用)。

次の表に、Cisco HyperFlex リリース 5.5(x) のすべての非セキュリティ HXDPの問題を示します。

- 特定のリリースで見つかった修正済みの問題のリストを表示するには、目的のリリースに関連付けられているリンクをクリックします。
- バグに適用される症状、条件、および回避策の詳細を表示するには、BST出力で目的のバグにカーソルを合わせて右側のパネルに詳細を表示するか、バグエントリをクリックして新しいタブでレコードを開きます。
- 結果を Excel にエクスポートするには、[Excelに結果をエクスポート (Export Results to Excel) ] ボタンをクリックします。

表 2: Cisco バグ検索ツール

HyperFlex リリース	影響のあるリリース	修正済みリリース
5.5(1a)	<a href="#">5.5(1a) 未解決の問題リスト</a>	<a href="#">5.5(1a) の修正済みの問題リスト</a>

## 関連資料

Cisco HyperFlex 展開のインストール、アップグレード、メンテナンス、およびトラブルシューティングに関する情報は、次のドキュメントに記載されています。

- [VMWare ESXi のプレインストール チェックリスト](#)

設置作業を開始する前に**必要な**構成情報を収集するための、編集可能なファイルです。チェックリストに記入し、シスコアカウントチームにご提出ください。

- [VMware ESXi 向け Cisco HyperFlex System リリース 5.5 インストール ガイド](#)

HyperFlex Systems の初期構成、および関連するポスト クラスタ設定タスクに関する詳細情報です。複数の HX クラスタの設定方法、HX クラスタの展開方法、混在した HX クラスタのセットアップ方法や、外部ストレージの接続方法についても説明しています。

- [Cisco HyperFlex システム リリース 5.5 アップグレード ガイド \(VMware ESXi 向け\)](#)

Cisco HX Data Platform の既存のインストールのアップグレード方法、アップグレード ガイドライン、およびさまざまなアップグレード タスクに関する情報を提供します。

- [サポートされていない Cisco HX リリース ガイドの Cisco HyperFlex システム アップグレード ガイド](#)

サポートを終了した Cisco HyperFlex HX Data Platform ソフトウェア リリースから、Cisco ソフトウェア ダウンロード サイトで提供される最新リリースにアップグレードする必要がある Cisco HyperFlex ユーザーに向けてガイドします。

- [Cisco HyperFlex Data Platform リリース 5.5 アドミニストレーション ガイド](#)

クラスタ、暗号化、データの保護（複製とリカバリ）、ReadyClone、ネイティブスナップショット、およびユーザ管理を管理および監視する方法について説明します。インターフェイスには、HX Connect、HX Data Platform プラグイン、および `stcli` コマンドが含まれます。

- [Cisco HyperFlex Edge のインストール前チェックリスト](#)

設置作業を開始する前に**必要な**構成情報を収集するための、編集可能なファイルです。チェックリストに記入し、シスコアカウントチームにご提出ください。

- [Cisco HyperFlex Edge リリース 5.5 導入ガイド](#)

リモート、ブランチ オフィス (ROBO)、およびエッジ環境にハイパー コンバージェンスをもたらすように設計された、HyperFlex Edge の導入手順を説明します。

- [Cisco HyperFlex Systems ネットワークおよび外部ストレージ管理ガイド](#)

HyperFlex Systems 固有のネットワークおよび外部ストレージ管理タスクに関する情報を提供します。

- [Cisco HyperFlex Systems リリース 5.5 ストレッチ クラスタ ガイド](#)



HyperFlex ストレッチ クラスタのインストールと設定手順を提供し、ミッションクリティカルなワークロードにアクティブ-アクティブなディザスタ回避ソリューションを展開できるようにします。

- [HyperFlex Intersight インストレーションガイド](#)

クラウドから安全なインフラストラクチャ管理を提供するように設計された HyperFlex Intersight のインストール、設定、および導入手順を提供します。

- [Cisco HyperFlex SD-WAN t 展開ガイド](#)

HyperFlex クラスタに SD-WAN ソリューションを展開するための機能プレビュー。Cisco は、テストネットワーク/システムでこの機能をテストすることを推奨します（実稼働環境では使用しないでください）。

- [Cisco HX Data Platform セキュリティ強化ガイド](#)

HXDP ベースのソリューションに推奨される構成設定と展開アーキテクチャを提供します。追加の vCenter セキュリティ強化設定を提供します。

- [技術メモ](#)

推奨される FI/サーバファームウェアに関する情報を提供します。

- [トラブルシューティング ガイド](#)

インストール、構成、Cisco UCS Manager から Cisco HyperFlex の構成、および VMware vSphere から HyperFlex の構成に関するトラブルシューティングを提供します。さらにこのガイドでは、システム イベント、エラー、Smart Call Home、およびシスコ サポートに関する情報を提供します。

- [コマンドライン インターフェイス \(CLI\) ガイド](#)

HX Data Platform の `hxcli` と `stcli` コマンドについての CLI リファレンス情報を提供します。

- [REST API 入門ガイド](#)

外部アプリケーションが Cisco HyperFlex の管理プレーンと直接対話できるようにする、REST API に関連する情報を提供します。 [REST API リファレンス](#)

- [障害復旧の Cisco HyperFlex PowerShell Cmdlets](#)

データ保護のために Cisco PowerShell Cisco HXPowerCLI cmdlets を使用方法に関する情報を提供します。

- [Cisco HxBench スタートアップ ガイド](#)

このマニュアルでは、Cisco HxBench ストレージパフォーマンステストを使用して、ストレージインフラストラクチャを評価する方法を説明します。

## 通信、サービス、偏向のない言語、およびその他の情報

- シスコからタイムリーな関連情報を受け取るには、[Cisco Profile Manager](#) でサインアップしてください。
- 重要な技術によりビジネスに必要な影響を与えるには、[Cisco Services](#) にアクセスしてください。
- サービス リクエストを送信するには、[Cisco Support](#) にアクセスしてください。
- 安全で検証済みのエンタープライズクラスのアプリケーション、製品、ソリューション、およびサービスを探して参照するには、[Cisco Marketplace](#) にアクセスしてください。
- 一般的なネットワーキング、トレーニング、認定関連の出版物を入手するには、[Cisco Press](#) にアクセスしてください。
- 特定の製品または製品ファミリの保証情報を探すには、[Cisco Warranty Finder](#) にアクセスしてください。

### マニュアルに関するフィードバック

シスコのテクニカルドキュメントに関するフィードバックを提供するには、それぞれのオンラインドキュメントの右側のペインにあるフィードバックフォームを使用してください。

### Cisco バグ検索ツール

[Cisco Bug Search Tool](#) (BST) は、シスコ製品とソフトウェアの障害と脆弱性の包括的なリストを管理する Cisco バグ追跡システムへのゲートウェイとして機能する、Web ベースのツールです。BST は、製品とソフトウェアに関する詳細な障害情報を提供します。

### 偏向のない言語

この製品のマニュアルセットは、偏向のない言語を使用するように配慮されています。このドキュメントセットでの偏向のない言語とは、年齢、障害、性別、人種アイデンティティ、民族的アイデンティティ、性的指向、社会経済的地位、およびインターセクショナルリティに基づく差別を意味しない言語として定義されています。製品ソフトウェアのユーザーインターフェイスにハードコードされている言語、基準ドキュメントに基づいて使用されている言語、または参照されているサードパーティ製品で使用されている言語によりドキュメントに例外が存在する場合があります。

## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。